

愛せないことから始まるもの
—現代の良きサマリヤ人—
社会福祉と良心 ③

同志社大学
木原活信

格差



コンパッションと良心の痛み

- 個人的なるものと、社会的なるもの
- 社会のなかのマイノリティの文脈で発露
- Compassionと関連 社会問題への眼差し

- 例) 社会福祉従事者の数: 日本のなかのキリスト教、アメリカのなかのユダヤ教

社会福祉の良心 欧米の場合

福祉実践行動の原動力、起爆剤となる

「良きサマリア人」スピリッツ ⇒

欧米福祉の源流 “キリスト教的良心”

主流派でなく、組織力もないときに生じる

ウエスレーと国教会 救世軍と国教会

ミュラーと国教会 クエーカーと国教会

Jane Addamsの例

社会福祉の良心 日本の場合

- 日本の場合 欧米キリスト教の影響
- 同志社「社会福祉」派or「良心派」の系譜
新島襄⇒山室軍平、留岡幸助、石井十次、
牧野虎次、賀川豊彦、中村遥、竹中勝男、竹
内愛二、嶋田啓一郎、金徳俊
当時の時代の状況との関係

善きサマリヤ人のたとえ ルカ10章25節から36節

10:25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスをためそうとして言った。「先生。何をしたら永遠のいのちを自分のものとして受けることができるでしょうか。」26 イエスは言われた。「律法には、何と書いてありますか。あなたはどの様に読んでいますか。」27 すると彼は答えて言った。「『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』また『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』とあります。」28 イエスは言われた。「そのとおりです。それを実行しなさい。そうすれば、いのちを得ます。」29 しかし彼は、自分の正しさを示そうとしてイエスに言った。「では、私の隣人とは、だれのことですか。」

続き

10:30 イエスは答えて言われた。「ある人が、エルサレムからエリコへ下る道で、強盗に襲われた。強盗どもは、その人の着物をはぎとり、なぐりつけ、半殺しにして逃げて行った。31 たまたま、祭司がひとり、その道を下って来たが、彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。10:32 同じようにレビ人も、その場所に来て彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。33 ところが、あるサマリヤ人が、旅の途中、そこに来合わせ、彼を見てかわいそうに思い、

続き

34 近寄って傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで、ほうたいをし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行き、介抱してやった。35 次の日、彼はデナリ二つを取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『介抱してあげてください。もっと費用がかかったら、私が帰りに払います。』36 この三人の中でだれが、強盗に襲われた者の隣人になったと思いますか。」37 彼は言った。「その人にあわれみをかけてやった人です。」するとイエスは言われた。「あなたも行って同じようにしなさい。」

注釈

- 律法学者、パリサイ派
- 祭司、レビ人
- サマリア人
- あわれみ スプランクニズマイ compassion

中島みゆき「ファイト」から考える

現代の良きサマリア人
良心の痛みとコンパッション

愛せないことから始まるもの

[http://www.wlpm.or.jp/cgi-bin/db/kiji_t.cgi?
keys34=0003154](http://www.wlpm.or.jp/cgi-bin/db/kiji_t.cgi?keys34=0003154)